

令和3年度 戸部本町地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績書)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・地域住民が高齢となり認知症を発症するなどした際、介護保険のサービス利用には至らないものの生活に支障が出たり、地域の活動への参加が難しくなる場合が多く見受けられるようになりました。そうした個別課題を、地域ケア会議等により住民・地域支援者・専門職と地域課題として共有し、認知症への理解促進や高齢者の見守り活動・役割の持てる居場所作りの支援に取り組みます。
 ・地域との繋がりを望まない高齢者も多く、生活に支障が出た途端に孤立しやすい現状があります。出来るだけ自立した生活が出来るよう、介護予防を含めた健康づくりを支援すると共に、感染症対策に留意しながら、地域活動参加へのきっかけとなる仲間づくりを支援します。
 ・生活の利便性の高さや、集合住宅の増加に伴い、子育て世代や単身高齢者の転入が増えています。誰もが住みやすい地域づくりを目標に、地域団体、関係機関、企業等と連携を図り、既存の地域活動の支援や新たな活動の創設を目指します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	引き続き、認知症サポーター養成講座の開催を通じて、認知症になっても住みやすい街作りに取り組む。企業からの依頼は積極的に引き受け、地域の中での開催を自治会や町内会に向けて発信していく。エリア内のキャラバンメイト連絡会も継続開催。講座企画時には全メイトに声をかけ参加機会を増やす。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	消費生活総合センターと協力しながら、地域の高齢者等への消費者被害防止活動及び発生後の対応を適切に行う。地域の郵便局や金融機関に伺い、消費者被害未然活動に力を入れている事を伝え、互いに相談できる顔の見える関係を作る。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域包括ケアシステムを住民とともに共有し意識しながら、個別ケース地域ケア会議を6職種で相談をし開催する。個別課題解決のために医療的な視点での助言は地域住民にとっても必用と考え、主治医、認知症サポート医師、在宅医療連携室と連携し、個別ケース課題の解決に取り組む。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	既存の地域活動の継続・活性化に向け、住民主体の地域づくりに向けて後方支援します。また、生活支援体制整備事業の理解・情報提供を行うとともに、地域ケア会議・協議体等で抽出した課題に対応する社会資源の創設を目指して地域住民や関係機関と取り組みます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自主事業参加者が福祉活動等、担い手となる機会を提供する。自主化した団体がケアプラザ及び福祉施設で活動し、福祉活動を積極的にするよう情報提供し働きかける。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

コロナ禍が続き、地域行事や地域活動が中止となる中で、介護予防、地域との繋がり、見守り活動の重要性を改めて見直す機会となりました。徐々に地域の取り組みや地域住民の工夫した活動が再開され、こうした住民主体の地域活動の円滑な運営や活動の継続を後方支援しました。
 また、ケアプラザでは、ICT環境が整備され、オンライン形式による講座の開催等にも取り組み、新しい生活様式をとりいれ、様々な世代のニーズに応じた情報発信に努めました。
 今後も、第4期地域福祉保健計画、地区別計画の推進に向けて、地域の皆様、関係機関と協働で取り組んで参ります。

区からのコメント

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止等に留意しながらの地域ケアプラザ運営にご尽力いただき、ありがとうございます。コロナ禍の長期化により、地域や団体の活動が停滞する中、活動者や団体が安心して活動できるよう、不安や悩みに丁寧寄り添いながら助言や後方支援いただいたことは、活動の再開・継続等に大きく寄与しました。認知症に関する取組では、地域・小学校や企業向けの「認知症サポーター養成講座」などを通じた「認知症の理解促進」や「その人らしく暮らせる地域づくりの取組」に取り組み、大きな成果を上げています。引き続き、取組の充実等に期待しています。
 また、Wifi環境が整備されたことで、オンライン形式を取り入れた講座等の開催など、多様な情報発信等を行い、大きな成果を上げています。次年度以降も様々な世代に合わせて情報発信等を工夫しながら行うことを期待しています。
 にこまちプランについては、複数地区を担当している中できめ細やかに地域支援を行うなど地区別計画の中心的な役割を果たしています。第4期推進にあたっては、引き続き、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会、区役所等での連携の充実にも期待しています。